

「三鷹市における平和施策の推進に関する条例の改正に向けた基本的な考え方」 の策定過程におけるご意見

1 検討委員会でのご意見

(1) 開催概要

<第1回>令和7年8月27日（水）出席委員：7人

<第2回>令和7年9月25日（木）出席委員：7人

(2) 主な意見

総論

- ・条例改正が目的ではなく、改正後の事業のあり方を考えて検討する必要がある。
- ・三鷹市は、「人権を尊重するまち三鷹条例」を制定していることから、今後も、人権尊重の視点に立脚して、平和施策を進めて欲しい。
- ・「三鷹市平和の日」を広く市民に知ってもらうことが大切である。三鷹駅前への横断幕の設置、コミュニティ・センター等でのPRのほか、パレードの実施を検討して欲しい。

平和教育

- ・学校における平和教育が素晴らしい。さらに、広く深く行われることに期待する。
- ・言葉や文章だけでなく、実物に触れることや経験することを大切にして欲しい。

情報発信

- ・次世代に向けて、戦争の経験を語れる人が少なくなっている。「語り部」を作る取組をして欲しい。
- ・平和の意識を根付かせるために、各住民協議会のコミセンまつりなどで平和に関するパネル展示が可能となるように情報を整理し、市所蔵のパネルの貸出しを気軽にできるようにして欲しい。
- ・身近な地域のコミュニティ・センター等で平和に関する資料を見ることができると良い。
- ・デジタル平和資料館を活用して、より多くの市民が資料を見られるようになしたい。
- ・今年の平和展の「地中に埋もれていた戦争展」は、これまで知られていなかった資料がたくさんあり、非常に良かった。

平和交流

- ・中学生の長崎市派遣交流事業は素晴らしい取組であり、ぜひ続けて欲しい。
- ・長崎市中学生派遣交流事業の報告会について、広報などで情報発信して欲しい。
- ・異文化交流という意味で、市内に海外とつながりのある学校があれば、学生同士の交流会などができると良いと思う。
- ・近隣自治体とも連携できると良い。

顕彰による意識の啓発

- ・三鷹市でも平和に関する作文コンクールを実施して欲しい。
- ・平和に関する合唱を呼びかけたらどうか。平和の絵も大事だが、歌の力は大きい。作曲や作詞を募るのも良いと思う。
- ・世界連邦都市宣言は晴らしい考え方である。広く認識してもらえたら良いと思う。

安定的な財源の確保

- ・平和基金について、クラウドファンディングなどで平和事業への寄付を募ることを検討できるのではないか。

その他

- ・日本国憲法の前文または第九条の碑を作成したらどうか。

2 市民からのご意見

(1) 募集期間

令和7年10月3日（金）～24日（金）

(2) 提出状況

6件

(3) 主な意見

平和教育

- ・平和を自分ごととして考える機会を提供して欲しい。教育現場でも、結論を教え込むのではなく、平和へのプロセスにどう関与していくのかを考えられるように、具体的・実践的に取り組める授業や教材を作成・実施して欲しい。

情報発信

- ・外国の戦争行為や非道さも正しく伝えるべきである。当時の新聞記事や写真、証言などを活用した資料を展示するとよい。
- ・三鷹市での戦時中の実体験や写真を展示することにより、市民や観光客が平和の尊さを改めて考えるきっかけを提供する。

顕彰による意識の啓発

- ・「世界連邦都市宣言」の文言を見直し、1919年（大正8年）のパリ講和会議で、日本が世界に先駆けて人種差別撤廃を提案した事実を盛り込んで欲しい。

その他

- ・専任部署と担当者を設けて体制を整えて欲しい。
- ・改正に向けた基本的な考え方、これまでの条例とどのように異なるのか比較した資料を提供して欲しい。
- ・地域の安全への意見